



14.61  
178

始



3 R 7 十

14.6

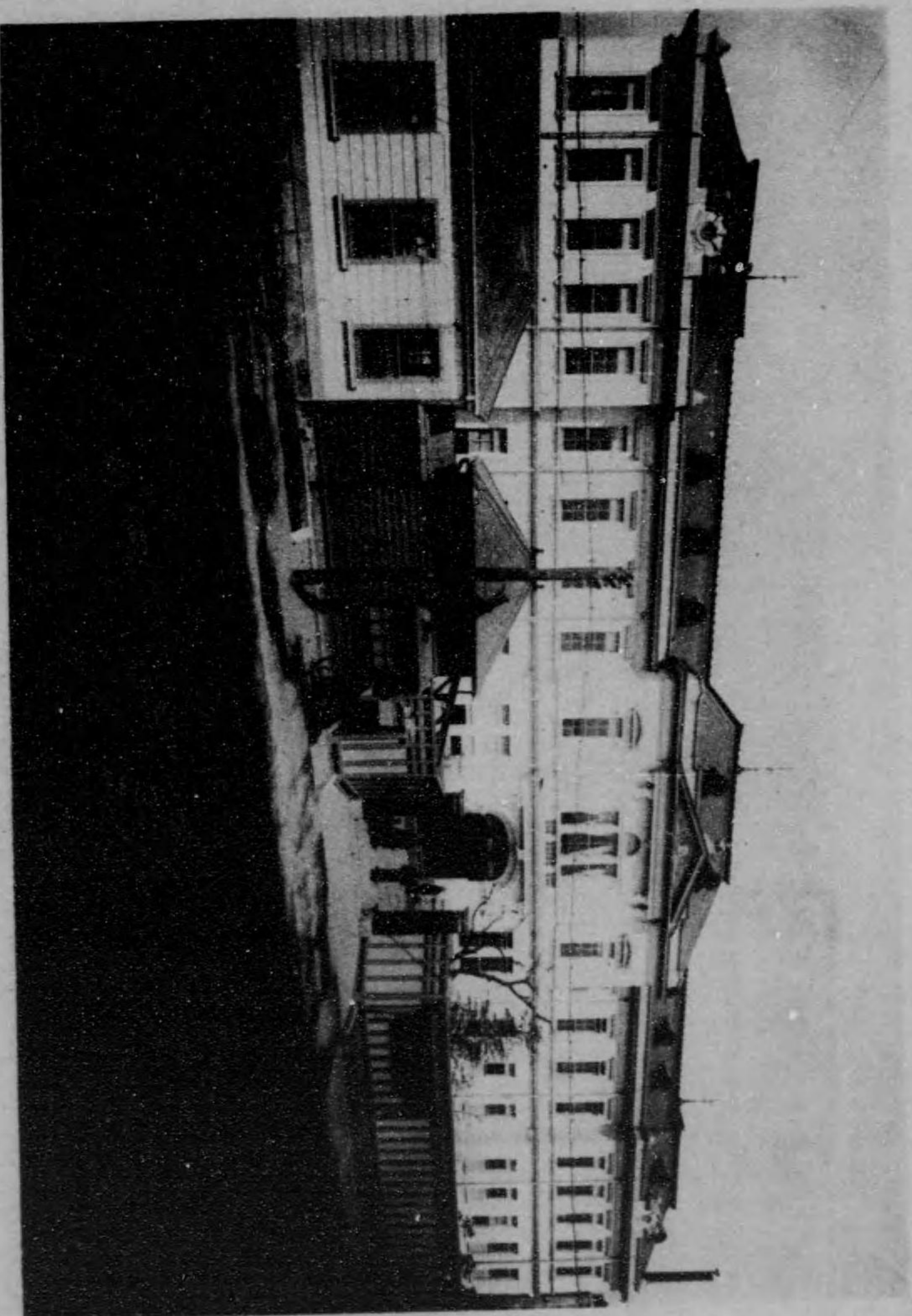
178

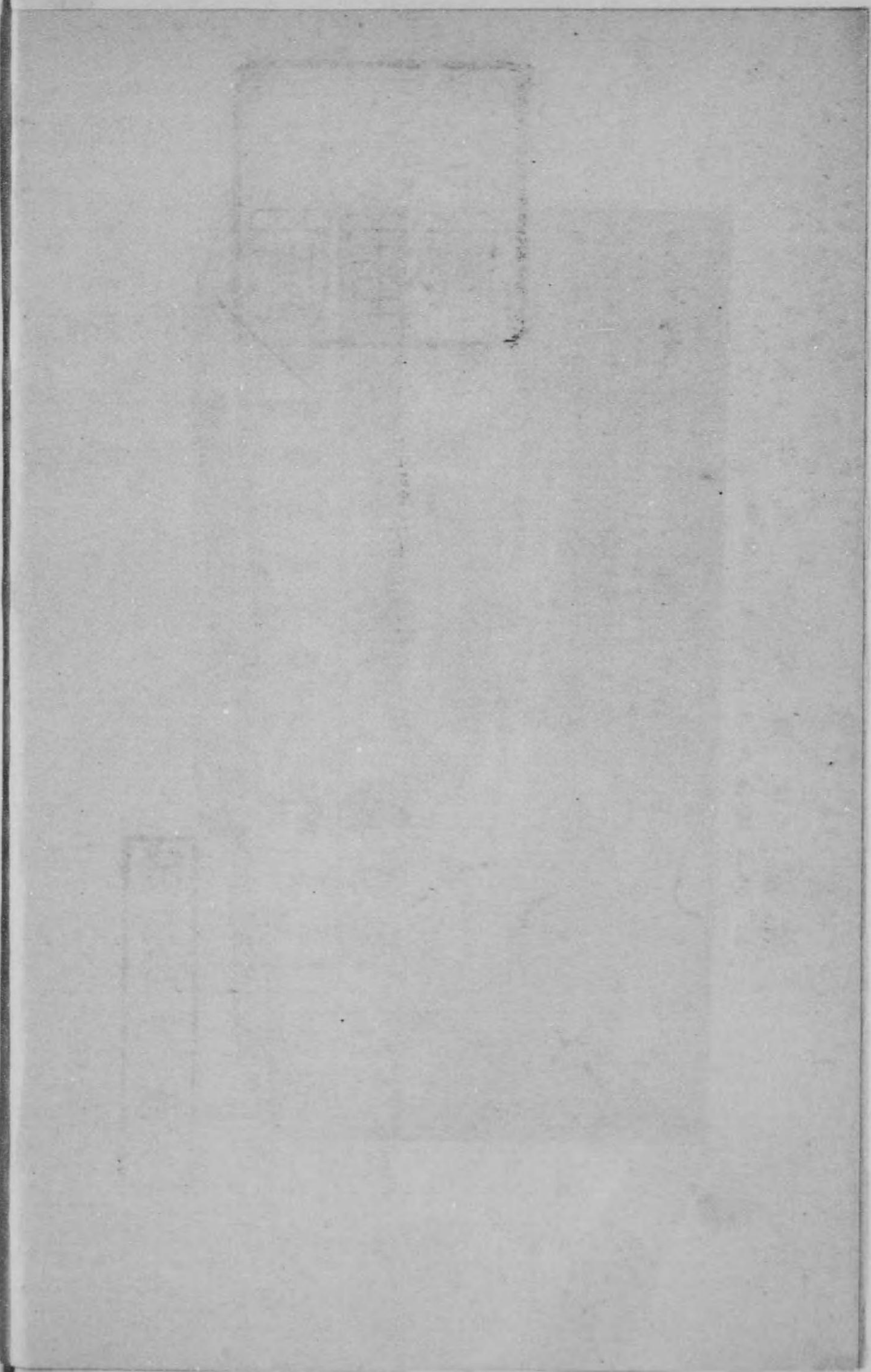
財團  
法人

泉橋慈善病院第拾七回報告

(大正十三年十二月卅一日  
至同)

東 京 市 神 泉 田 區 和 泉 町 一 善 地 院  
財 法 人 泉 橋 慈 善 病 院





# 寄附行爲

- (明治參拾九年拾月參日內務大臣認可)  
(第貳條、第參條、第貳拾貳條、變更)  
(明治四拾貳年參月九日內務大臣認可)  
(第肆條、第五條、第六條、第拾條、變更)  
(明治四拾四年貳月貳拾參日內務大臣認可)  
(第肆條、第五條、第六條、第拾六條變更)  
(明治四拾五年四月貳拾五日內務大臣認可)  
(第貳拾 拾 條 變更)  
(大正六年四月廿六日內務大臣認可)  
(第貳拾條、第肆條、第五條、第六條、第拾四條)  
(第拾五條、第拾六條、第拾七條、第拾九條)  
(第廿壹條、第廿貳條、第廿六條、變更)  
(大正八年四月拾壹日內務大臣認可)

## 一、目的

第一條 本法人ハ汎ク貧困ナル病者ノ爲メ施療ヲ爲スヲ目的トス

## 二、名稱

第二條 本法人ノ名稱ハ財團法人泉橋慈善病院トス

## 三、事務所

第三條 本法人ノ事務所ハ東京市神田區和泉町壹番地ニ之ヲ置ク

## 四、資産

第四條 本法人ノ資産ハ設立ノ際ニ於ケル三井家總代男爵三井八郎右衛門ヨリノ寄附金壹百萬圓第貳回ノ寄附金貳拾萬圓第參回ノ寄附金五萬圓第四回ノ寄附金百七拾五萬圓合計金參百萬圓ト

ス

- 第五條 本法人資産參百萬圓ノ内ヲ以テ土地建物器具等設備費ヲ支拂ヒ殘額ヲ維持基本金トス
- 第六條 第四條ノ設立ノ際ニ於ケル寄附金ハ法人設立許可ノ日ニ於テ又第貳回第參回及第四回ノ寄附金ハ寄附行爲ノ變更認可ノ日ニ於テ本法人ニ歸屬ス
- 第七條 本法人ノ維持經費及ヒ施療費用等ハ維持基本金ノ利子及ヒ其他ノ雜收入ヲ以テ支辨ス
- 第八條 維持基本金ハ使用スルコトヲ得ス若シ使用ノ已ムヲ得サル必要生シタル場合ニハ豫メ評議員會ノ議決ヲ經ルモノトス
- 第九條 本法人ノ目的ヲ贊助シテ金品ノ寄附アルトキハ受領スルコトヲ得但シ寄附金ニシテ特ニ其用途ヲ指定セラレタルモノノ外ハ維持基本金ニ組入ルルモノトス
- 第十條 維持基本金ハ之ヲ確實ナル銀行ニ預入レ保管セシムルモノトス但シ評議員會ノ議決ヲ得テ國府縣市債ノ證券又ハ確實ナル銀行會社ノ株券又ハ社債ヲ買入レ銀行ヲシテ保管セシムルコトヲ得
- 第十一條 土地建物器具等ノ設備費其他ノ資金ハ其指定費目ニ支出スルマテハ前條ノ方法ニ依リ保管スルモノトス

## 五、解散

第十二條 本法人ハ法定ノ解散事由ノ發生スルニ非レハ解散スルコトナシ

第十三條 本法人解散スルニ至リタルトキハ理事ハ豫メ評議員會ノ議決ヲ經テ其資産ヲ本法人ノ目的ト同一若クハ類似ノ目的ヲ有スル他ノ病院其他ノ慈善團體ニ寄附シテ第四條資産寄附者ノ目的ヲ永遠ニ繼續セシムルコトヲ圖ルヘシ

六、醫 務

第十四條 本病院病者ノ治療及之ニ關聯スル醫務ハ之ヲ東京帝國大學醫學部長ニ一切委託ス

七、評 議 員

第十五條 本法人ニ二十名以内ノ評議員ヲ置ク其任期ハ五ヶ年トス但シ滿期重任スルコトヲ妨ケス

第十六條 評議員ハ左ノ資格者ヨリ選任スルモノトシ第一次ニ於テハ設立委員長之ヲ選任シ爾後ハ三井家總代若シクハ總代ノ指定シタル者ニ於テ之ヲ選任ス

一 設立委員

二 東京帝國大學醫學部ニ屬スル教授

三 第四條資産寄附者

四 三井家同族三井家重役若クハ重役タリシモノ

五 社會ニ聲望昭著アルモノ

第十七條 評議員ノ互選ヲ以テ評議員會長壹名副會長參名以内ヲ

定ム

評議員會長ハ評議員會ヲ招集シ其議長トナル會長事故アルトキハ副會長ノ壹名其互選ニヨリ會長ノ職務ヲ代理ス

第十八條 評議員ニ缺員ヲ生シタル時ハ第十六條ノ資格者ヨリ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス

前項ニ依ル補缺者ノ任期ハ本任者ノ任期ト共ニ終了ス

第十九條 評議員三名以上若クハ理事又ハ監事ノ請求アルトキハ臨時評議員會ヲ招集スルモノトス但シ第一次ノ評議員會ハ設立委員長之ヲ招集ス

第二十條 評議員會ハ全員ノ過半数出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス議事ハ出席者ノ過半数ニ依リ之ヲ決ス

第二十一條 評議員會長副會長ノ任期ハ五ヶ年トス

八、理事及監事

第二十二條 本法人ヲ代表シ其事務ヲ處理セシムル爲メ理事七名以内ヲ置ク

第二十三條 理事ハ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス

第二十四條 理事ハ左ノ事項ニ就テハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

一 資産ノ管理運用及ヒ處分ニ關スル事項

二 豫算及ヒ決算

三 豫算外ノ支出

14.6.178



- 四 債權債務ノ設定ニ關スル事項
- 五 土地建物ノ購入賣却若クハ新營大修繕ニ關スル事項
- 六 其他重要事項
- 第廿五條 理事ハ每半季其執務シタル業務及ヒ資産ノ現況ヲ監事及評議員會ニ報告スヘシ
- 第廿六條 本法人ノ資産及ヒ業務ノ狀況ヲ監査セシムル爲メ監事三名以内ヲ置ク
- 第廿七條 監事ハ評議員會ノ議決ニ依リ評議員會長之ヲ選任ス
- 第廿八條 監事ハ資産ノ狀況若クハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル時ハ之ヲ評議員會及主務官廳ニ報告スヘシ
- 第廿九條 理事及ヒ監事ハ評議員會ニ出席シテ發言スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス
- 第三十條 理事ノ任期ハ五ヶ年トシ監事ノ任期ハ三ヶ年トス但シ滿期重任スルコトヲ妨ケス
- 理事及ヒ監事ノ補缺者ノ任期ハ本任者ノ任期ト共ニ終了ス
- 九、寄附行爲ノ變更
- 第卅一條 本寄附行爲ニ定メタル事項ニシテ第一條第五條及ヒ第八條ノ趣旨ニ反セサル範圍内ニ於テ評議員會ノ議決ニ依リ必要ト認メタルトキハ主務官廳ノ認可ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得
- 第卅二條 前條ノ評議員會ハ全員ノ四分ノ三以上出席シ其四分ノ三以上ノ同意ニ依リテ議決ス (前文後文共ニ略ス)

發行所寄贈本

大正 14.5.12 寄贈

財團 泉橋慈善病院沿革略

明治三十九年三井家ニ於テ時勢ニ鑑ミ貧困ニシテ醫藥ヲ得ルノ資ナ  
キ病者ノ爲メ施療ヲ爲スノ目的ヲ以テ市内ニ施療機關ヲ設クルノ急務  
ナルヲ認メ金壹百萬圓ヲ寄附シテ財團法人組織ノ慈善病院ヲ設立スル  
事ニ決シ同家總代男爵三井八郎右衛門氏ハ益田孝、土肥慶藏、岡田和一郎、  
入澤達吉、朝吹英二、五氏ニ設立委員ヲ囑託シ同年拾月財團法人三井慈善  
病院設立ノ認可ヲ得地ヲ元大學第二醫院跡即チ現在ノ地ニトシ直ニ建  
築ニ着手シ同四十一年十二月工事竣成同四十二年三月廿一日開院式ヲ  
舉ゲ翌廿二日ヨリ一般患者ノ診療ヲ開始シタリ其後二回ニ三井家ヨリ  
金貳拾五萬圓、大正八年四月更ニ金百七拾五萬圓ノ寄附アリテ資本總額  
ヲ金參百萬圓トシ同時ニ名ヲ財團法人泉橋慈善病院ト改メタリ



目次

第一	役員	一
第二	評議員會並役員ノ異動	二
第三	職員及備人	五
第四	治療成績	一四
第五	醫術ノ研修	一九
第六	會計	二一
第七	彙報	二七
第八	患者病類別並ニ剖檢分類表	三三
第九	患者職業及現在住所別	五四
附錄		
第一	附屬產婆看護婦養成所報告 (第九回)	一
第二	贊助婦人會報告 (第五回)	一

財團 法人 泉橋慈善病院第拾七回(自大正十三年一月至大正十三年十二月)報告

第一役員



現在役員左ノ如シ

- 評議員
  - 會長 侯爵 井上勝之助 (大正十三年一月一日重任)
  - 副會長 佐藤三吉 (大正十三年十月十日重任)
  - 同 子爵 瀧澤榮一 (大正十三年一月一日重任)
  - 同 男爵 三井八郎右衛門 (大正十三年十月十日重任)
- 理事
  - 入澤達吉 (同上)
  - 男爵 益田孝 (同上)
  - 團 琢磨 (同上)
  - 三井元之助 (同上)
  - 三井源右衛門 (大正十三年一月一日重任)
  - 田代義德 (同上)
- 監事
  - 團 琢磨 (大正十三年十月十日重任)
  - 石川八十井 (大正十三年一月一日重任)
  - 船尾榮太郎 (大正十三年一月一日重任)
  - 田代義德 (大正十三年一月一日重任)
  - 木村德衛 (同上)
  - 有賀長文 (大正十三年一月一日重任)
  - 藤井市三郎 (大正十三年七月十一日重任)

## 第二 評議員會並役員ノ異動

### (一) 評議員會

- ◎二月六日左ノ件ヲ可決ス
- 一、三井合名會社長臨時寄附金ノ件
- ◎二月十六日開會左ノ件ヲ可決ス
- 一、宮内省及内務省獎勵金受領報告
  - 一、大正十二年末貸借對照表及收支計算ノ件
  - 一、同 財產目錄承認ノ件
  - 一、同 年度剩餘金處分ノ件
  - 一、建物器具備品損害復舊並要急施設及非常支出費ニ關スル件
  - 一、理事石川、田代、木村三氏任期滿了再選ノ件
- ◎四月四日左ノ件ヲ可決ス
- 一、有價證券交換ノ件
  - 一、準備金ニ對スル有價證券賣却ノ件

一、元資金及慈惠資金ニ對スル有價證券振替ノ件

◎四月十一日左ノ件ヲ可決ス

- 一、評議員選任報告
- 一、評議員會長及副會長互選ノ件

◎九月廿五日左ノ件ヲ可決ス

- 一、佛貨公債賣却、大日本人造肥料株式會社社債買入ノ件

◎十二月卅日左ノ件ヲ可決ス

- 一、大正十四年度豫算案

### (二) 役員ノ異動

◎三月九日 現任理事中、石川八十井氏任期滿了ニ付寄附行爲第廿三條ノ規定ニ基キ評議員會全員一致ヲ以テ前記石川八十井氏ヲ理事ニ選任ス

◎四月十一日 現任評議員中、侯爵井上勝之助、子爵澁澤榮一、田代義徳、三井源右衛門諸氏ハ何レモ任期滿了ニ付寄附行爲第十五條第十六條ノ規定ニ基キ三井家總代男爵三井八郎右衛門氏ハ更ニ前記諸氏ヲ評議員ニ選任ス事トシ、田代義徳、木村三氏ハ更ニ前記評議員ニ選任ス事トシ、石川八十井氏ハ更ニ前記諸氏ヲ評議員ニ選任ス事トシ、以上ノ如キ評議員會ニ於テ全員一致ヲ以テ評議員會長ニ侯爵井上勝之助氏尙同日寄附行爲第十七條ノ規定ニ基キ評議員會ニ於テ全員一致ヲ以テ評議員會長ニ侯爵井上勝之助氏

ヲ副會長ニ子爵澁澤榮一氏ヲ互選ス

◎四月十七日 現任理事中、田代義徳、木村徳衛兩氏任期滿了ニ付寄附行爲第廿三條ノ規定ニ基キ評議員會全員一致ヲ以テ前記兩氏ヲ理事ニ選任ス

### 第三 職員及備人

#### (一) 現在職員

◎本年末ニ於ケル現在職員左表ノ如シ

職名	職名	嘱託又ハ就職年月日	身	分	姓	名
院長	長	大正十年二月十日(嘱託)	東京帝國大學醫學部講師	醫學博士	木村徳衛	上
内科部長	長	明治四十二年二月一日(同)	同	同	同	上
眼科部長	長	同 年四月十三日(同)	同	同	中泉行徳	上
耳鼻咽喉科部長	長	大正三年十月一日(同)	同	醫學士	田所喜久馬	上
外科部長	長	同 年十二月九日(同)	東京帝國大學助教授	醫學博士	青山徹藏	上
病理解剖科部長	長	大正八年一月十五日(同)	東京帝國大學醫學部講師	同	福士政一	上
藥劑部長	長	同 年七月一日(同)	同	製藥士	溝口恒輔	上
内科主任	任	大正九年二月一日(同)	同	醫學博士	平松濤平	上
産科婦人科部長	長	大正十年五月五日(同)	同	同	笠森周護	上
小兒科部長	長	同 年五月廿日(同)	同	同	太田孝之	上
光線療法科部長	長	大正十二年三月十九日(同)	同	醫學士	保利清	上



同	醫員(眼科)	上	大正十三年三月一日		愛知醫學士中村榮
同		上	同		金澤醫學士村上彌之助
同		上	同		日本醫學士奧村真筑
同		上	同		新潟醫學士廣田龍治
同	醫員(耳鼻咽喉科)	上	大正十一年七月六日		日本醫學士黑澤真一郎
同		上	大正十二年一月八日		愛知醫學士伊藤司
同		上	同		同
同		上	同		同
同		上	大正十三年四月廿四日		金澤醫學士野村朋一
同		上	同		中島才治
同		上	同		東京醫學士千葉胤彦
同	醫員(皮膚泌尿器科)	上	大正十一年十一月十六日	東京帝國大學醫學部講師	醫學士前田安之助
同		上	大正十一年七月一日		熊本醫學士竹内虎勇
同		上	同		千葉醫學士長谷川俊次
同		上	大正十二年三月一日		日本醫學士山田豊次郎
同		上	大正十三年十月一日		仙臺醫學士小島延吉
同	醫員(小兒科)	上	大正十二年四月十八日		醫學士中島義四郎
同		上	同		同

同	醫員(病理解剖科)	上	大正十三年四月十六日		同	丘村稱文
同		上	同		同	藤井靜雄
同		上	大正十一年十月十一日		日本醫學士江口勝四郎	
同		上	大正十三年二月十五日		金澤醫學士衣川穰	
同		上	同		千葉醫學士師岡浩三	
同		上	同		日本醫學士石田和義	
同	技手(光線療法科)	上	同		中島夏三	
同		上	同		古川富重	
同	藥劑局員	上	明治四十二年二月十五日		古川富重	
同		上	同		布村繁造	
同		上	同		野澤順司	
同		上	同		瀧澤順八	
同		上	大正二年七月一日		小里勇	
同		上	大正三年八月一日		製藥士溝口恒輔	
同	事務局長(兼)	上	大正九年十一月十七日		製藥士溝口恒輔	
同	事務局長代理	上	同		德澤治	
同	事務員	上	同		勝田久助	
同		上	同		松川武徳	
同		上	大正十年三月廿九日		瀧澤庄吉	

事務員	大正十年八月一日	宮下幹太
同	上同	森忠雄
看護婦	大正十三年九月廿五日	石波はま

◎本年末ニ於ケル職員其他現在數左表ノ如シ

區別	科別	事務	内科	外科	眼科	耳科	皮科	兒科	婦科	光科	病理科	藥局	合計
院	院長	一											一
副院	院長												
部	部長		主任兼										
醫	員		一										
藥劑局	員			一									
事務	局長	兼											
事務	長代理	兼											
書	記												
看護婦	取締												
看護婦	主任	兼											
同	講習生												
合計			一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

同	見習生	二五
按摩	手	一
光線	科	一
守	衛	三
雜務	員	一
給仕	方	二
贈物	掛	一
動物	番	一
風呂	番	一
雜務	婦	五
汽罐	場	四
洗濯	場	四
合計		三九

(二) 職員ノ異動

◎三月八日 男爵三井八郎右衛門氏ノ囑託ニヨリ海外ニ於ケル慈善救療事業視察ノ爲メ本院耳鼻咽喉科部長田所喜久馬氏本日午後八時十五分東京驛出發渡歐セララル  
田所部長不在中醫學博士渡邊淡水氏ニ耳鼻咽喉科ノ監督ヲ囑託ス

◎十月廿九日 耳鼻咽喉科部長田所喜久馬氏歐米視察ヲ終リ本日午後零時十五分東京驛着ニテ歸京セラル  
 ◎十一月廿六日 産婦人科部長笠森周護氏醫學博士ノ學位ヲ受ク  
 ◎本年中ニ於ケル職員ノ異動増減左ノ如シ

就			職		
月	日	勤務科名	月	日	勤務科名
一月十七日	光線科	中島 良三	四月十六日	内科	醫學士 吉川 博
一月十九日	外科	醫學士 青柳 豊	同上	同上	同上
二月十五日	病理科	醫學士 千葉 師岡 浩三	同上	外科	渡邊 良夫
三月一日	眼科	醫學士 愛知 中村 榮	同上	小兒科	同 丘 稱文
三月六日	内科	醫學士 雲井 愷爾	四月廿四日	外科	同 間 中英一
三月十五日	外科	同 伊澤 浩	同上	耳鼻科	醫學士 野村 朋一
三月廿一日	内科	同 竹林 寅熊	五月一日	皮膚科	醫學士 野村 朋一
三月廿九日	眼科	同 山上 鎮夫	五月六日	眼科	醫學士 野村 朋一
同	同上	醫學士 澤村 上彌之助	五月十日	外科	醫學士 奧村 良筑
四月十日	外科	醫學士 山本 玄	五月廿七日	眼科	醫學士 廣田 龍治
四月十六日	内科	同 染谷 友次郎	五月廿八日	内科	醫學士 山田 謙三
同	同上	同 中村 四雄	六月十六日	外科	同 田村 豐

辭			職		
月	日	勤務科名	月	日	勤務科名
七月十六日	耳鼻科	醫學士 中島 才治	十月十四日	内科	醫學士 倉澤 巖
同	同上	醫學士 千葉 胤彦	十月卅日	病理科	醫學士 石田 和義
九月廿五日	看護婦	醫學士 石渡 良三	十一月四日	外科	醫學士 齋藤 友三
十月一日	皮膚科	醫學士 小島 延吉			
一月八日	内科	醫學士 長谷川 誠	五月卅一日	内科	醫學士 玉置 恪三
一月十四日	外科	同 足立 孝	六月十五日	外科	同 直江 六三郎
一月十五日	皮膚科	醫學士 中西 豊參	六月廿五日	小兒科	同 石光 蕭
一月卅一日	内科	醫學士 内藤 政久	六月卅日	外科	同 鹿島 良三
二月一日	小兒科	同 豐田 榮	七月卅一日	眼科	醫學士 山崎 善二
同	病理科	醫學士 齋藤 龜夫	九月十五日	内科	醫學士 山原 敏夫
三月一日	外科	醫學士 西野 入眞澄	九月卅日	外科	同 野田 宏
三月廿八日	同上	同 西村 菊次郎	十月一日	皮膚科	醫學士 野田 宏
四月十五日	同上	同 小牧 久夫	十月七日	病理科	醫學士 藤井 齊
四月卅日	看護婦	同 綿谷 禮利	十月十五日	内科	同 關口 伴之
五月十日	外科	醫學士 佐藤 順一	十一月廿日	耳鼻科	醫學士 濱田 令吉



### 第四 治療成績

#### (一) 診療事務

- ◎一月一日 本日ヨリ七日マデ新來患者中、内、外、皮膚泌尿器、産婦人科ハ毎日、耳鼻咽喉、小兒科ハ月、水、金、眼科ハ火、木、土、再來患者ハ各科トモ四日ニ診療シ受附時間ハ従前ノ通り午前十時マデトス
- ◎一月八日 本日ヨリ外來患者診察ヲ平常ニ復ス
- ◎一月十一日 天然痘流行ニ付本日以後毎日午前十時ヨリ同十一時マデ希望者ニ種痘ヲ行フ
- ◎二月十六日 本日ヨリ皮膚泌尿器科新來患者診察ヲ火、木、土、ニ改ム
- ◎六月一日 缺員ノタメ休止中ナリシ「マツサージ」治療ヲ開始ス
- ◎六月十六日 本日ヨリ外來患者受附時間ヲ新來午前八時マデ、再來午前八時卅分マデニ改ム
- ◎六月廿八日 本日ヨリ和泉町居住者及本院職員以下ニ「チフス」豫防注射ヲ行フ
- ◎七月十一日 本日ヨリ東第二病室、第三病室及産婦人科病室ヲ閉鎖ス
- ◎九月一日 光線療法科診察日ヲ月、水、金、午前九時ヨリ正午マデトス
- ◎十月一日 本日ヨリ執務時間及外來患者受附時間ヲ左ノ如ク改メ猶從來閉鎖中ナリシ病室ヲ平常ニ復ス

復ス

一、執務時間 午前九時ヨリ午後四時マデ

一、新來患者受附時間 午前八時マデ(小兒科ニ限り午前九時マデ)

一、再來患者受附時間 午前九時マデ

◎十二月廿五日 本日ヨリ一月七日マデ休業、但シ廿七、三十及一月四日ハ各科トモ平常ノ通新來及再來患者ヲ診療ス

#### (二) 患者數

◎本年中ニ於ケル外來患者及入院患者ノ數左ノ如シ

#### 1、外來患者數

#### (イ) 男女別

男女別	區別		計	治療日數
	新來	再來		
男	一三、一七三	五八、五三六	七一、七〇九	一三、二〇〇
女	一一、三三三	二〇、〇〇二	三一、三三五	一、五九三
小兒	一、三三七	二、五三六	三、九一三	一〇、六九七
計	二七、六六七	一三四、五七三	一六二、二四〇	二四、八九七

(ロ) 各科別

科別	區別		計	計	計	計	計	計
	男	女						
內科	新	來	再	合	計	計	計	計
外科	5,127	3,643	4,156	9,273	6,944	1,229	2,819	1,617
眼科	2,375	1,436	1,436	2,674	1,133	1,541	1,133	2,807
耳鼻咽喉科	1,739	1,661	1,756	1,935	2,812	1,123	1,689	4,746
皮膚泌尿器科	1,726	1,236	1,165	1,331	1,005	1,176	1,005	2,336
小兒科	1,956	776	9,804	11,760	4,847	3,581	4,588	1,677
產婦人科								8,055
光線科								1,953
マツサイツ								2,190
合計	13,175	12,333	59,536	71,044	83,105	8,055	12,169	660

備考 外來患者ノ治療日數及一日平均數左ノ如シ

治療日數 新來 二百九十六日  
 再來 二百九十四日  
 一日平均數 新來 九十三人五三七  
 再來 四百五十七人七九五

2、入院患者數 (イ) 男女別

男女別	區別	持	全	院	計	計	計	計
男	男	入	治 <td>故</td> <td>院</td> <td>計</td> <td>計</td> <td>計</td>	故	院	計	計	計
60	748	808	156	443	24	769	10,049	35
女	55	955	63	336	39	966	15,614	30
合計	115	1,703	219	779	63	1,735	25,663	65

各科別	區別	持	全	院	計	計	計	計
內科	持	全 <td>院 <td>計 <td>計 <td>計 <td>計 <td>計</td> </td></td></td></td></td>	院 <td>計 <td>計 <td>計 <td>計 <td>計</td> </td></td></td></td>	計 <td>計 <td>計 <td>計 <td>計</td> </td></td></td>	計 <td>計 <td>計 <td>計</td> </td></td>	計 <td>計 <td>計</td> </td>	計 <td>計</td>	計
36	370	406	81	173	19	360	11,848	3
外科	45	426	153	277	13	503	11,749	1
眼科	6	105	3	26	2	109	2,133	1
耳鼻咽喉科	2	118	9	106	4	129	1,716	1
皮膚泌尿器科	7	54	9	40	2	63	2,163	1
小兒科	6	191	36	100	15	196	3,268	3
產婦人科	10	446	101	133	10	250	3,333	3
合計	117	1,893	277	819	78	1,949	38,932	60

備考 入院患者一日平均數百六人七三

◎入院患者一人ニ對スル治療日數(在院日數)ヲ各科別ニ比較スレバ左ノ如シ

科別	大正十二年		大正十三年		比較	△増 減
	年次	日數	年次	日數		
內科	二七九	三〇〇	三〇〇	二八	△	二二
外科	二六〇	三三三	三三三	二八	△	二八
眼科	一九六	二〇二	二〇二	〇	△	〇
耳鼻咽喉科	一五九	一四三	一四三	一六	△	一三
皮膚泌尿器科	三〇四	三五四	三五四	五〇	△	五〇
小兒科	一五九	一六六	一六六	七	△	〇
產婦人科	二一五	九二	九二	一二三	△	二四

◎大正十三年度ニ於ケル助産成績左ノ如シ

產婦取扱數 在院日數	大正十三年度												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
產婦取扱數	三	五	六	三〇	三三	三三	三六	三三	四七	四四	五九	五九	四五六
在院日數	四四	三四	三四五	二六五	二九三	三二一	二六〇	二八二	二九八	二〇五	一九八	三〇〇	三、三三三

備考 一ヶ月平均產婦取扱數三十八人  
一人平均在院日數七日強

### 第五 醫術ノ研修

#### (一) 剖檢

區別	男女別		合計
	男	女	
大	六	六	一五〇
小	六	三	九七
合計	一二	九	三三〇

#### (二) 研究及講習

◎本年中醫師ノ研究生及講習生左ノ如シ

科目	區別	資格別	研究生人員		講習生人員		合計
			開業試驗及第者	大學及專門學校出身	開業試驗及第者	大學及專門學校出身	
內科	科	科	一	四九	一	一七	六八
外科	科	科	一七	四八			六五
眼科	科	科	七	三六			三三
耳鼻咽喉科	科	科	一三	二〇			三三
皮膚泌尿器科	科	科	一四	二五			三九
合計			五〇	一五〇	一	一八	一八八

小兒科	九	三	三	四	六	一〇	四
產科	二	三	四	一〇	一	五	四
光線療法科		一	一				
病理解剖科	二〇	一七	二七	三	四	七	三
合計	三	二六	三〇	一四	一九	三	三六

◎講習會ハ本年中第六十回ヨリ第六十二回ニ至ル三回ヲ開講セリ  
第六十回(二月一日ヨリ四週間)

内 科 醫學博士 平 松 濤 平  
皮膚泌尿器科 同 佐 谷 有 吉  
光 線 科 醫學士 保 利 清

第六十一回(四月一日ヨリ四週間)  
產婦人科 醫學博士 笠 森 周 護  
小兒科 同 太 田 孝 之

第六十二回(十一月廿日ヨリ十二月十五日マデ)  
内 科 醫學博士 平 松 濤 平  
病理解剖科 同 福 士 政 一

◎學術集談會ハ第六十三回ヲ開催セリ  
(三) 集 談 會

第六會 計

- ◎二月十六日 昨年九月一日大震災火災ニ基ク建物設備ノ損害並非常支出金及至急ヲ要スル施設費金七萬九千貳百貳拾圓九拾錢ノ内準備積立金全部ヲ以テ之ニ充ツルモ尙不足ニ付三井合名會社社長男爵三井八郎右衛門氏ヨリ金五萬圓ノ寄附ヲ受ケタリ
- ◎三月六日 本院所有ノ土地ノ所有權取得登記ノ回復登記ヲ完了ス
- ◎四月廿六日 建物其他復舊施設等ノ爲メ準備金ニ屬スル有價證券賣却ヲ要スル爲メ甲法號公債額面壹萬圓、佛貨四分利公債額面七千法ヲ元資金ニ屬スル南滿洲鐵道第十六回社債券額面壹萬八千圓ト交換シ之ニ準備金ニ屬スル南滿洲鐵道第十六回社債券ヲ加ヘ貳萬五千圓ヲ賣却ス
- 元資金及慈惠資金ニ對シ證券購入ノ必要アルヲ以テ賣却スベキ準備金ニ屬スル佛貨四分利公債額面壹萬五千五百法ヲ元資金ニ六千法ヲ慈惠資金ニ振替補填ス
- ◎五月二十日 東京市下水道條例第八條ニ依ル下水道施設ヲ完了ス
- ◎六月廿五日 神戸市水道公債額面八千圓ノ償還ヲ受ケタリ
- ◎七月十六日 償還ヲ受ケタル神戸市水道公債差益金貳千圓ヲ以テ大阪市都市計畫公債ノ評價切下ケヲ行ヒタリ
- ◎九月三十日 佛貨四分利公債額面五拾萬法ヲ賣却シ代リ證券大日本人造肥料株式會社第四回社債券額面拾參萬七百圓ヲ購入ス
- ◎十月十六日 大日本人造肥料株式會社第四回社債券額面九千圓ヲ購入ス



大正十四年度豫算表(其一)

收 入 之 部			
經 常 收 入		臨 時 收 入	
甲 乙 號 公 債 證 書 利 子	43,200.00	光 線 科 收 入	200.00
乙 號 鐵 道 債 券 "	400.00	銀 行 預 金 利 子	240.00
東 京 市 上 下 水 道 公 債 "	3,500.00	講 堂 貸 與 料	30.00
東 京 府 農 工 債 券 "	1,729.00	不 用 品 賣 却 代	100.00
大 阪 市 都 市 計 畫 公 債 "	48,000.00	雜 收 入	150.00
大 阪 市 築 港 公 債 "	2,400.00	償 還 債 券 差 益 金 等 一 時 借 入	5,391.00
大 阪 市 電 氣 鐵 道 公 債 "	400.00		
神 戶 市 水 道 公 債 "	5,000.00		
北 海 道 炭 礦 汽 船 社 債 券 "	37,500.00		
南 滿 鐵 道 第 十 六 回 社 債 券 "	31,850.00		
同 第 十 八 回 "	861.00		
第 四 回 大 日 本 人 造 肥 料 社 債 券 "	10,576.00		
有 價 證 券 使 用 料	15,768.00		
講 習 會 收 入 金	1,200.00		
贊 助 婦 人 會 寄 附	1,753.00		
	204,136.00	經 常 收 入	204,136.00
			210,247.00

大正十三年度經費決算豫算對照表

科 目	豫 算 額	決 算 額	比 較	增 減
俸 給 及 手 當	38,592.00	39,416.52		824.52
雜 員 給 料 及 當 直 辦 當 料	21,621.00	21,293.13	△	327.87
看 護 婦 費	27,219.00	24,588.33	△	2,630.67
備 品 費	10,960.00	16,793.78		5,833.78
帳 簿 及 文 具 類	2,390.00	2,348.51	△	41.49
電 燈 瓦 斯 木 炭 石 炭 給 水 及 消 耗 費	21,525.00	26,432.89		4,907.89
通 信 運 搬 費	600.00	909.48		309.48
藥 品 治 療 用 材 料 及 雜 用 品 費	23,035.00	24,902.83		1,867.83
患 者 賄 及 滋 養 品 費	12,987.00	14,379.57		1,392.57
入 院 患 者 被 服 寢 具 同 補 修 費 消 毒 料	3,789.00	5,020.58		1,231.58
診 斷 實 驗 費	3,570.00	4,595.03		1,025.03
營 繕 及 修 繕 費	1,500.00	3,035.23		1,535.23
火 災 保 險 料	4,227.00	5,832.19		1,605.19
電 燈 瓦 斯 水 道 模 樣 替 及 新 設 費	150.00	308.70		158.70
諸 稅 及 公 費	1,650.00	1,637.21	△	12.79
諸 雜 費	2,100.00	2,476.47		376.47
慰 勞 金	9,675.00	9,351.70	△	323.30
豫 備 費	500.00	500.00		0
	183,150.00	203,823.18		17,673.18

大正十四年度豫算表(其二)

支 出 之 部	
經常費	197,624.00
產婆看護婦養成所費	11,123.00
準備積立金	1,500.00
退職者慰勞基金	1,500.00
合 計	210,247.00

第七彙報

(一) 獎勵助成金及東京市補助金受領

◎二月十一日 東京府廳ニ於テ左記ノ社會事業ニ對スル獎勵助成金傳達交附式ヲ舉行セラル

泉橋慈善病院

今般其ノ事業御獎勵ノ思召ヲ以テ金五百圓下賜候事

大正十三年二月十一日

宮 内 省

泉橋慈善病院

社會事業ニ關シ從來盡力スル所尠カラス今後尙一層淬勵シテ其効果ヲ收メムコトヲ望ム仍テ茲ニ獎勵

金ヲ下附ス

大正十三年二月十一日

内務大臣 正三位勳一等 水野鍊太郎

◎四月五日 東京市社會局ニ於テ左記ノ東京市補助金五百圓ヲ交附セララル

泉橋慈善病院

社會事業ニ關シ從來盡力スル所尠カラス仍テ茲ニ本市ノ補助金ヲ交附ス今後尙一層淬勵以テ其效果ヲ收メラレンコトヲ望ム

大正十三年四月五日

東京市長 永田秀次郎

(右金額ハ何レモ慈惠資金ニ繰入レタリ)

(二) 記念式

◎四月七日 午後二時ヨリ本院ニ於テ左ノ順序ニヨリ記念式ヲ行フ

- 一、君が代
  - 二、評議員會長ノ挨拶
  - 三、十年勤績者表彰
  - 四、院務ノ報告
  - 五、來賓祝辭
- 會長 井上侯爵  
同 右  
院 長  
東京府知事  
社會局長官(代讀)
- 當日來賓、東京府知事宇佐美勝夫氏、社會局長官代理熊谷憲一氏、木下正中氏、侯爵井上勝之助氏、佐藤三吉氏、男爵三井八郎右衛門氏、團琢磨氏、三井元之助氏、三井源右衛門氏、石川八十井氏、船尾

榮太郎氏、有賀長文氏、藤井市三郎氏  
賛助婦人會、侯爵夫人井上末子氏、男爵夫人三井苞子氏、岡田德子氏、團芳子氏、池田艶子氏  
十年勤績者左ノ如シ

藥劑局員 瀧澤順八  
雜務員 瀧澤角次郎

東京府知事ノ祝辭左ノ如シ

泉橋慈善病院本日ヲトシ創立滿十五ヶ年記念ノ典ヲ舉ケラル、ニ當リ一言祝意ヲ表スルヲ得ルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ

顧フニ本院ハ明治四十二年ノ創設ニ係リ位置ヲ帝都ノ中心ニ占メ最モ意ヲ設備ノ完整ニ用キ宏壯ナル建築充實セル内容兩々相俟チ全國幾多ノ私設救療機關中希ニ見ルノ實質ヲ具ヘ創立以來無告ノ患者ニシテ再生起死ノ恩澤ニ浴スルモノ舉ケテ數フヘカラス客秋ノ大震災ニ當リ奇蹟ニ等シキ類焼ノ厄ヲ免カレタルカ如キ蓋シ亦天佑ノ然ラシムル所ナラストセムヤ

爾來一層患者ノ激増ヲ告ケ繁忙其ノ度ヲ加フト雖職員以下一心同躰愈々其結束ヲ固クシ克ク其責務ニ盡瘁シ救療ノ本分ニ對シ敢テ或ハ闕漏ノ憾アルナキハ洵ニ斯界ノ範トナスヘク社會ニ貢獻スル所最モ大ナルモノアルヲ認ム今ヤ帝都ハ宏古稀有ノ禍殃ヲ承ケ救療機關ノ完整ヲ要スルノ急ナルニ際シ今日



記念ノ式ヲシテ尤モ意義アラシムヘク普ク窮民患者ノ福祉ヲ増進セラレンコト是レ深ク本院ノ將來ニ  
 期望スル所以ナリ之ヲ祝辭トス

大正十三年四月七日

東京府知事 宇佐美勝夫

社會局長官ノ祝辭左ノ如シ

財團法人泉橋慈善病院救療ノ施設トシテ創立セラレテヨリ茲ニ十五年孜々トシテ其ノ使命ニ盡瘁シ其  
 ノ間屢々資金ヲ増加シ事業逐年整備ヲ加フ其ノ人生ノ幸福ニ資シタルモノ少シトセス殊ニ客年大震火  
 災ニ方リ全都ノ救療事業殆ト罹災シタルニ際シテハ能ク公私ノ臨時施設ト聯繫シテ罹災傷病者救護ノ  
 事ニ從ヒ災後善處ノ方途ヲ盡シタルノ功頗ル大ナリ刻下救療事業ノ活動ヲ要スルヤ益々切ナルヲ加フ  
 ルノ秋冀クハ一層ノ奮勵本事業ノ大成ヲ圖ラレンコトヲ本日第十五回創立記念ノ式ヲ舉ケラルルニ方  
 リ一言ヲ述ヘテ祝辭トナス

大正十三年四月七日

社會局長官 池田宏

(三) 寄附、寄贈、寄託

◎本年中本院ニ於テ寄附寄贈ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

月日	慈善資金	看護員慰安資金	救療費	物品	氏名	宿所
二月廿七日				「主體色及無色ノ機能の體別ノ研究」第九卷	財團法人啓明會	麴町區永樂町一ノ一東京海上内

三月十一日				菓子 一箱	和田 織衣	麻布區飯倉町二九
四月廿四日			三		三原 喜市	埼玉學生誘掖會
五月三日			五〇		河野 重代	日本橋區龜島町一ノ三〇
五月十四日				歐洲戰爭畫報	朝吹 常吉	芝區下高輪町五七
五月十九日				腎臟疾患ノ病理及療法	佐々 廉平	本郷區四片町一〇、ミノ一〇號
五月廿三日		一五			大阪府社會事業協會	大阪府社會課内
七月十六日			五〇		大信 田 勘助	府下目黒村三田一九九、栗山方
七月廿二日				圖書(購入費) 二、五〇〇圓	磯村 豊太郎	芝區高輪南町三〇
八月五日			五		矢部 林藏	牛込區袋町三一梅月方
九月一日				「ミューン」醫學週報 「プレッスマ」マガザル	小川 三郎	
十二月十五日				蜜柑 五箱	井上 侯爵家	麻布區本村町
十二月廿六日				新撰看護學全書上	碓 居 龍太	本郷區四片町一〇、一ノ四一號
十二月廿九日			五		内山 勇藏	府下王子町堀ノ内三七四
十二月三十日				雜誌「キング」十部	長谷川 富雄	四谷區麴町一二ノ一九
三月卅一日			四三六、八〇			
六月卅日			四三六、八〇	一七五六、八〇	贊助婦人會	本院内
十二月廿五日			八八三、二〇			

◎本年間入院患者ヲ慰問シ生花ヲ寄贈セラレタルモノ左ノ如シ  
 基督教青年會收容所 下谷、根岸、日本橋、高輪各教會及明星日本基督教會日曜學校  
 產業基督教青年會 神田基督教青年會内イエスの友會

(四) 雜事

- ◎三月廿一日 午前十時ヨリ淺草區松清町、淺草本願寺本堂ニ於テ本院入院死亡者ノ春季法要ヲ執行ス  
 參會者ハ遺族又ハ近親四十四名、本院職員看護婦等四十五名
- ◎三月卅一日 財團法人日華學會運沼惣彌氏案内ノ下ニ北京醫科大學教授周頌聲外二氏來院參觀
- ◎五月十二日 病院建築參考トシテ内務技師佐藤正、近藤十郎二氏來院參觀
- ◎六月三十日 濟生會福岡病院醫長多賀憲氏來院參觀
- ◎九月廿三日 午前十時ヨリ淺草區松清町、淺草本願寺本堂ニ於テ本院入院死亡者ノ秋季法要ヲ執行ス  
 參會者ハ遺族又ハ近親二十名、本院職員看護婦等三十四名
- ◎十月廿九日 米國紐育セントルイ病院看護婦長ミス、カツター、三井物產會社員吉田初次郎氏同行來院  
 參觀
- ◎十二月卅一日 本年間入院死亡者ノ葬祭ヲ財團法人助葬會ニ依頼セルモノ合計百六十五名ナリ

第八 患者病類別並剖檢分類表

一 外來患者病類別

(大正十三年度分)

病類別	內科		外科		合計	泌尿生殖器病		合計
	男	女	男	女		男	女	
急性傳染病	四	一七	三	三	五	二五八	二七〇	五二八
消化器系統病	一〇〇	七三	一〇	三	一、一〇六	一四	五	一、一九
呼吸器系統病	九七	七二			一、六九	五〇一	五〇四	一、〇〇五
循環器系統病	一八	一三			三〇	一三	七	四〇
漿液膜疾患	三五	二八			六三	一	一	六四
血液病	三〇	三			三三	六	一八	二一
新陳代謝病	三〇	三			三三	一	一	三四
神經系統病	一一九	七八			一九七	二七	三三	三三〇
筋及關節病	二二	二二			四四	一	一	四五
骨部外傷	三	三	一〇	三	一六	三三九	三八	三七七
軟部外傷						三九	八	四七
合計	三三	三三	一〇	三	三九	三三九	三八	四二七

膜				角				膜				結																											
其他	先天性異常	外傷	フリクテン	角膜炎	翳	實質炎	乾燥症	潰瘍	性パノプス	トラホーム	計	其他	フリクテン	淋菌性結膜炎	乾燥症	傳染性加答兒	濾泡性結膜炎	トラホーム																					
八		九	一〇三	二七六	二六	二六		四四	一五二	九三	九三	一四二	三〇	二	三	一六六	二	二	五三																				
二	三	四	一七六	四〇八	四〇				一九八	一〇二	一〇二	一三〇	三三	六	四	九〇	一四	八四	八四																				
五	一	九	七八	五	一四	二	七	八	四三	四五	四五	五九	三九	六	九	一三	二	二	一八八																				
六		二	二四	七八	一六	三	一五	一四	四七	四七	四七	三五	三五	五	四	九七	三三	二	二〇八																				
三〇	四	二四	四八一	八二九	九六	五	一〇七	三七一	二八六	二八六	二八六	三六六	一三七	二八	二	四六	七九	一	一、七三																				
體子確				體晶水				障内緑				體樣毛				虹				膜				登															
計				計				計				計				計				計				計															
五二	五二	六〇	二	二	五	二〇	五	一五	六	六	六	一〇九	六	一〇三	一五	一五	一五	一五	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九
二〇	二〇	七三	五		六	二六	四	三	九	九	九	一〇〇	一〇	九〇	七	七	七	七	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	
一	一	五		五		一						三		三					一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	
七三	七三	一三七	七		二八	四七	九	八	一五	一五	一五	二七	一七	一〇	四	三	三	三	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七	一九四七

眼		直腸及肛門疾患		脾臟疾患		ヘルニア		肝臟疾患		腸及腹膜炎		胃疾患		口腔及食道疾患		血管系循環器疾患		關節疾患		骨疾患		筋疾患		皮膚及皮下組織疾患		整形的四肢疾患		
先天性異常	外傷	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
一	二	一四二	一四二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三		二三七	二三七																									
一		六九	六九																									
三		四四	四四																									
八	二	四九一	四九一																									
器		淚		合		他科		初診		淋巴腺		梅毒		其		神經系		腫		乳腺		甲狀腺		呼吸器		泌尿生殖器		
計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		
二	二	二	二	二、八五九	五四	二六	二六	一四五	二八	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六		
三五	三五	三五	三五	一、三三七	三〇	二〇	二〇	一八三	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二		
一	一	七〇	七〇	五九	九	一一	一一	九八	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二			
一	一	四七	四七	三六	一〇	一〇	一〇	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一			
五九	五九	五〇一	五〇一	四三七	一〇	六七	六七	五九	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五			

屈	筋	眼	球	眼	經	神	視	膜絡脈		膜		網		
								計	脈絡膜炎	計	網膜炎	剝離	出血	
近視	計	眼筋痙攣	共働性斜視	眼球癆	先天性異常	全眼球炎	計	視神經炎	計	脈絡膜炎	計	網膜炎	剝離	出血
九四	三三	五	一七	二六	二〇	三	七〇	豐	二七	一一	二二	八六	七五	四九
一〇〇	二七	二	二五	元	三三	三	八四	三八	四六	一一	二二	七六	六七	六五
三	六	一	五	八	三	四	四	二	二			一	一	
三	三		三	四	三	一	五	五						
二四七	六	八	五	七	六	二	一六	八	七五	三	三三	一七	一〇	二四
虹彩毛樣體炎	虹彩炎	眼高疾病	角膜實質炎	角膜潰瘍	トヲホーム	淋菌性眼炎	角膜炎軟化症	總計	失明原因病類別	高眼病	調節老視眼	折遠視	亂視	遠視
一	八	三	一六	一七	三	八	三	二、三、六	二、八、三	一	六	二	二五	二二
七	四	二	二	五	一七	一		七、九	二、八、三	一	一四	一四	一四	二四
			一	一	一			七、九				三	三	
			六	三	一			七、八				二八	五	二
八	一	二	四	四	九	二七	二	六、七、五				三、四、〇	五、五	八

皮膚紅斑症	皮膚水疱症	皮膚瘙癢症	皮膚血管障害	皮膚泌尿器科										
				副鼻腔疾患	固有鼻腔疾患	外鼻疾患	鼓膜疾患	內耳疾患	中耳疾患	外耳疾患	外耳疾患	視神經疾患	不明	
七	二	一〇	一三	五二	九四	二	元	三	四八	一五	一五	一		
四	九	五	七	一八	三〇	三	九	三	一七	八七	八七	七		
三		二	二	三六	八九	九		二	二七	一〇	一〇	一		
	二	四	八	三三	二二			一〇	一〇	六	六	二		
三	三	三	四〇	七七	一三三	三	六	九三	四六	四六	四六	八		
皮膚分泌障害	濕疹	皮膚壞疽病	急性傳染病性發疹	合計	食道疾患	頸部疾患	喉頭疾患	咽頭疾患	口腔疾患	先天性發育異常	外傷	計		
三五	二七	四五		二、四、五	一	二	四	三	三	一	八	二七	八	一
九	一四	一九		九、六、六	一	二	三	二	九	九	九	二四	九	五
	二八	二二	五	七、八、四	三	九	八	二七〇	九	二	一	九	一	二
	五	一七	三	一〇、一	三	二	四	一七九	九			三		八
四	五九	九	八	四、六、三	五	二	九	八二	四			二八		八

剝脫性皮膚疾患	苔癬	化膿性皮膚炎	皮膚潰瘍性疾患	皮膚糸狀菌病	皮膚結核症	癩病	皮膚角化異常	皮膚腫瘍	皮膚色素異常	皮膚萎縮症	毛髮疾患	寄生性皮膚疾患	皮膚疾患合計	第一期梅毒	第二期梅毒	第三期梅毒
三	三	六〇	一	二〇	三	五	一〇	一八	一	三	一八	五三	五〇	三六	六	一四
		二〇		六	七	一	三	八	二	一	一八	一〇	二七	三	三八	七
		八		六			六					六	一九			
		一四		三			二					一	二二			
三	三	一〇	一	三	三〇	六	一五	四	三	四	四	九	一一	四	一〇	三
潛伏梅毒	先天性梅毒	梅毒繼發症	梅毒恐怖症	軟性下疳	混合下疳	橫痃	淋菌性尿道炎患	結核性泌尿器疾患	非淋菌性尿道炎	非淋菌性膀胱炎	女子尿道膀胱炎	尿道炎狹窄	尿道炎癢	淋丸精系陰囊疾患	泌尿器結石	泌尿器系腫瘍
九	二〇	七	二	二三四	一四八	三四三	四四四	四九	六	四	四	四	三	二	八	八
		一		一四	七	一五	一四	一								
一一	二	八	二	二二八	一五五	三五八	四四八	五六	二二	四〇	四〇	四〇	三三	二	九	二八

陰部畸形	乳糜尿	包皮龜頭炎	生殖器神經障害症	妊娘	子宮後傾後屈	子宮前傾前屈	子宮實質內膜炎	子宮附屬器炎	子宮發育不全	子宮外妊娘	子宮筋腫	卵巣囊腫及腫瘍	子宮癌	子宮萎縮	惡性脈絡膜上皮腫
一六	一	一四	七	七四六	四九六	一一三	七〇	四七	九八	三	五四	五	九	三	一
一															
一七															
性泌尿器疾患 計	合計	總計	七	子宮周圍炎	子宮腔脫及下垂	流產	膀胱尿道炎	外陰部炎症	葡萄狀鬼胎	月經異常	妊娠腎	產褥熱	骨盤腹膜炎	膀胱膿瘍	其他
一、五五九	二〇七	二、四九〇	一四	一六五	三〇	二八	三三	二八	三	三	一三	一五	二四	四	二〇
一、七九二	一〇	一〇	七												
三															
二、九五六	三	二、九五六													

合計	小兒科		合計	
	男	女	男	女
急性傳染病	13	14	27	21
消化器系統病	33	27	60	54
呼吸器系統病	47	36	83	73
漿液膜疾患	6	14	20	18
循環器系統病	1	1	2	2
泌尿生殖器病	1	1	2	2
體質異常	1	1	2	2
脚氣	1	1	2	2
神經系統病	1	1	2	2
畸形	1	1	2	2
合計	100	100	200	176
骨及關節疾患	1	1	2	2
先天性梅毒	1	1	2	2
合計	1	1	2	2

光線科

△透視及攝影診斷

呼吸器系統病	7	5	12
消化器系統病	3	2	5
バルロイ氏病	3	2	5
合計	13	9	22

急慢性傳染病	7歳以下		7歳以上10歳以下		10歳以上15歳以下		15歳以上20歳以下		20歳以上25歳以下		25歳以上30歳以下		30歳以上40歳以下		40歳以上50歳以下		50歳以上60歳以下		60歳以上70歳以下		70歳以上		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
急性傳染病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
皮膚結核	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
淋巴腺炎	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
アクトノミコーセ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
子宮筋腫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ケロイド	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
腹膜炎	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13

二 入院患者病類及年齢別

(大正十三年度分)

内科

急慢性傳染病	7歳以下		7歳以上10歳以下		10歳以上15歳以下		15歳以上20歳以下		20歳以上25歳以下		25歳以上30歳以下		30歳以上40歳以下		40歳以上50歳以下		50歳以上60歳以下		60歳以上70歳以下		70歳以上		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
急性傳染病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
皮膚結核	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
淋巴腺炎	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
アクトノミコーセ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
子宮筋腫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ケロイド	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
腹膜炎	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13	14	13



眼科		合計	不明	其他	器丸結核	面疔	異物	外傷	カリエス	癢痕強直	筋炎
眼瞼外腫症	内背贅皮										
		三三	一	一							
		二二		三							
		一〇		一							
		九		一							
		二〇		一							
		五									
		三三		一							
		二二		一							
		二六		二							
		二四									
		三二		一							
		一〇									
		五七		一							
		二六		一							
		五五									
		一八		二							
		二七		一							
		一三		一							
		三									
		五									
		二									
		三									
		三三		二							
		二五		八							
		二六		五							
		四六		七							

脱臼及骨折	關節炎	陰囊水腫	肛門疾患	尿道疾患	ヘルニア	膿胸	肋骨カリエス	骨髓炎	アクリチノミ	カルブンケル	巨舌	脊椎破裂	蜂窩織炎	腫瘍	肉腫	水腫
	二	二	一	一	一〇									二		一
	一				二											一
	一				五											
	二	一			一											
	二	二	一													
	二	二	一													
	三	二	六													
	一															
	一															
	三	一	二	一												
	一八	二	六	九	四											
	三	四		八												
	一〇	一六	六	五												











第九 患者職業及現在住所別

(大正十三年分)

(一) 患者職業別

職業	業	外	來	入	院
職人	夫		五、九〇五	三四	一四
職工			二、八六九	一九	四〇
勤人			一、八二四	三六	七六
車力			一、二一九	四三	三〇
大工			一、〇九六	五五	二二
仕立			一、〇六六	五三	一一
雜業			一、〇四九	三三	四七
手内職			八五八	三三	三三
呼賣行人			七六六	三三	一七
鍛冶鑄物職			五三三	三〇	一四
人力車夫			四八四	二六	一三
工夫			四七五	一七	八
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣行人					
鍛冶鑄物職					
人力車夫					
工夫					
職人					
職工					
勤人					
車力					
大工					
仕立					
雜業					
手内職					
呼賣					

(二) 患者現在住所別表

住 所	外 來	入 院	住 所	外 來	入 院
住 郡	10,377	708	住 京 橋 區	3,721	181
淺 草 區	3,311	333	牛 込 區	3,311	27
下 谷 區	2,877	334	地 方	331	59
本 所 區	2,233	131	四 谷 區	1,731	6
神 田 區	2,477	199	芝 區	1,331	13
深 川 區	1,416	66	總 町 區	1,330	13
本 郷 區	700	70	赤 坂 區	1,131	82
小 石 川 區	733	43	麻 布 區	931	16
日 本 橋 區	633	77	合 計	27,677	1,633

洋 傘 直 シ	5	5	藝 人	36	8
ハ ン キ 職	5	3	鑄 掛 鉸 前 直 シ	6	0
印 判 板 木 職	5	2	編 物 組 絲 職	2	4
彫 刻 職	5	3	縫 箔 職	3	5
桶 職	5	5	柳 職	2	1
挽 物 職	4	3	刷 毛 職	2	1
空 俵 樽 商 職	4	1	洗 濯 業 職	1	3
竹 細 工 職	4	1	寄 子 商 職	1	1
張 物 職	4	4	花 商 職	1	3
研 屋 職	4	1	下 足 直 シ	1	1
木 挽 職	4	3	羅 字 屋 職	1	3
筆 職	4	1	易 者 職	7	1
織 物 職	4	4	馬 具 職	6	0
屋 根 職	3	1	龍 甲 職	6	0
漁 夫 職	3	3	扇 子 團 扇 職	6	0
疊 職	2	0	合 計	27,677	1,633
提 灯 傘 職	2	0			

產婆看護婦養成所報告

第九 (大正十三年)

財団法人泉橋慈善病院附屬  
産婆看護婦養成所規程抜萃

第一條 本所ハ財団法人泉橋慈善病院ニ附屬シ助産法並ニ一般患者看護法ヲ講授シ兼テ社會事業ニ關スル智識ト高尚ナル品性トヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第二條 本所ニ所長一名、事務長一名、教員若干名、幹事一名、取締一名、副取締若干名ヲ置ク

第三條 本所ハ之ヲ左ノ二科ニ分ツ  
看護法講習科

産婆講習科

第四條 講習年限ハ各二ケ年トス

第五條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第六條 入學志願者ハ本所長ノ認可シタルモノニシテ大要左ノ資格ヲ備フルヲ要ス

一、看護法講習生ハ年齢十六年以上三十年以下ニシテ配偶者ナク高等小學校ノ卒業證書ヲ有シ又ハ之ト同等以上ノ學力

ヲ有スルモノ

二、産婆講習生ハ本院看護法講習科卒業生又ハ看護婦ノ資格ヲ有スル官公私立病院ノ委託生ニシテ本所長ノ認可シタルモノ又ハ看護婦ノ資格ヲ有スルモノニシテ入學試験ニ及第シタルモノ

第七條 講習生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ滿二ケ年間成規ニ依リ給料ヲ受ケテ本院ノ看護婦ヲ勤務スル義務アルモノトス

第八條 看護法講習生ニハ食餌及手當ヲ給與シ制服ヲ貸與シ院内ニ宿泊セシム

附錄 第一

産婆看護婦養成所報告

第九

(大正十三年度)

(一) 現在 員

本年末ニ於ケル現在役員左如

所長	醫學博士	田代	義德	講師	醫學士	庄司	俊三
教頭	同	平松	壽平	同	同	秋本	伊三雄
講師	醫學士	笠森	周護	同	同	岩田	達
同	醫學博士	太田	孝之	同	同	富永	錦吾
同	醫學士	衛藤	巖	同	同	加野	太郎
同	同	豊田	茶	同	同	前田	安之助
同	同	松永	直	同	同	中泉	行正
同	同	飯島	文宣	同	同	黒澤	真一郎





二

講師	佐方 鎮子	校 醫	醫學士	小 暮 悅 郎
同	藤村 トヨ	幹 事		松 川 武 徳
同	春海 玉枝	取 締		石 渡 は ま
事務長	溝口 恒輔			

(三) 入 學 式

◎四月一日 第六回産婆講習生十五名、第六回看護法講習生十六名ノ入學式ヲ舉行ス

(三) 卒 業 式

◎四月七日 午後二時本院記念式ニ次テ左ノ順序ニ依リ第四回産婆講習科及第四回看護法講習科卒業證書授與式ヲ舉行セリ

- 一、金剛石の歌
- 二、産婆看護婦養成所報告 (事務長)
- 三、卒業證書授與 (所 長)
- 四、賛助婦人會ノ記念品授與 (井上侯爵夫人)
- 五、無缺席者賞品授與 (所 長)
- 六、所長訓辭

七、卒業生總代答辭

(廣岡のぶ  
松本タヨ)

來賓ハ本院記念式ニ同ジ

卒業生左ノ如シ (い、ろ、は順)

産婆講習科

濱名フジ 劉 榮芳 大信田のり 大川キヨミ 渡邊はる 庄司たま 廣岡のぶ

菅原タマ 菅原カメコ

看護法講習科

伊藤ヤス 磯谷スエ 原山ヲフ 富田シゲノ 大澤トミ 唐牛サカエ 田崎いし  
 工藤ヒサ 松澤シヅエ 松本タヨ 小林よし江 江幡きよ 手塚おのり 阿部貞子  
 佐藤よし 望月はな

(四) 看護婦、同講習生異動

年次	區別	看護婦取締	看護婦	第四回生	第五回生	第六回生	見習生	合計
大正十二年十二月	現在	一	一	一	一	一	一	一
本年	就職	一	二	一	一	一	一	一
本年	退職	一	一	一	一	一	一	一
大正十三年十二月	現在	一	一	一	一	一	一	一
大正十三年十二月	現在	一	一	一	一	一	一	一

(五) 看護婦ノ外勤

◎本年度モ猶外勤部ヲ設立スルヲ得ザリシガ止ムヲ得ザル筋ノ申込ニ限り派出セリ其成績概要左ノ如シ  
看護婦延數 六名 依頼先 五家 外勤日數 百八十八日 一人平均外勤日數 三十一日強

(六) 看護婦及同講習生轉地保養

◎暑中休暇中千葉縣安房郡保田町ニ保養所ヲ設ケ志望者ヲ相互交代シテ保養セシメタリ  
右保養所費用中へ賛助婦人會ヨリ金百五拾圓ヲ寄贈セラレタリ

(七) 經費

◎大正十三年度經費ノ豫算並ニ決算及十四年度豫算額ノ對比左ノ如シ

科目	對比	大正十三年度豫算額	同上決算額	大正十四年度豫算額
看護法講習生手當		¥10,200	¥10,410	¥11,100
同 講習生賄料		¥5,500	¥5,500	¥6,400
看護服新調費		¥6,500	¥6,600	¥6,000
同上洗濯及補修費		1,200	—	2,000
講習諸費		¥1,000	¥1,500	¥1,000
合計		¥24,400	¥26,010	¥27,100

(五) 看護婦ノ外勤

◎本年度モ猶外勤部ヲ設立スルヲ得ザリシガ止ムヲ得ザル筋ノ申込ニ限り派出セリ其成績概要左ノ如シ  
看護婦延數 六名 依頼先 五家 外勤日數 百八十八日 一人平均外勤日數 三十一日強

(六) 看護婦及同講習生轉地保養

◎暑中休暇中千葉縣安房郡保田町ニ保養所ヲ設ケ志望者ヲ相互交代シテ保養セシメタリ  
右保養所費用中へ賛助婦人會ヨリ金百五拾圓ヲ寄贈セラレタリ

(七) 經費

◎大正十三年度經費ノ豫算並ニ決算及十四年度豫算額ノ對比左ノ如シ

科目	對比	大正十三年度豫算額	同上	決算額	大正十四年度豫算額
看護法講習生手當		四、〇八〇〇		四、〇〇〇〇	四、〇七〇〇
同 講習生燃料		四、五二〇〇		四、四四七五	四、〇九〇〇
看護服新調費		六八〇〇		二、四四六五	四、〇〇〇〇
同上洗濯及補修費		一、〇〇〇		—	五、〇〇〇
講習諸費		二、五〇〇〇		三、八四六五	四、〇〇〇〇
合計		一、九一五〇〇		一、八六三三	一、八、一、〇〇〇

泉橋慈善病院賛助婦人會報告

第五 (大正十三年)

附録 第一

賛助婦人會報告

(大正十三年度)

(一) 役員

(大正十三年十二月末日現在)

會長 井上末子

(大正十三年四月七日再選重任)

副會長 澁澤兼子

(同)

副會長 三井苞子

(同)

幹事 岡田德子

(同)

幹事 岡田德子

(同)

常議員 (大正十三年四月七日本院評議員會長より囑託重任)

(同)

井上末子

三井苞子

澁澤兼子

岡田德子

士肥多越子

三井曉子

入澤常子

三井五十子

三井榮子

早川里子

岡田芳子

藤瀬ヒデ子

池田艶子

山田久子

泉橋慈善病院賛助婦人會規約

- 第一條 本會ハ財團法人泉橋慈善病院設立ノ趣旨ヲ翼賛シ其事業ヲ補助スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ヲ泉橋慈善病院賛助婦人會ト稱シ其事務所ヲ財團法人泉橋慈善病院内ニ置ク
- 第三條 第一條ノ目的ヲ達成スル婦人ヲ以テ會員トス
- 第四條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク
  - 會長 壹名
  - 副會長 參名以内
  - 本會ヲ代表シ一切ノ會務ヲ總理シ常議員會ノ議長トナル
  - 會長ヲ佐ケ會長差支アルトキハ副會長ノ内壹名其職務ヲ代理ス
  - 幹事 五名以内
  - 會長ノ旨ヲ受ケ會務ヲ掌理ス
- 泉橋慈善病院評議員、理事、監事、病院長、副院長及各科部長ニ會長ヨリ囑託シ本會ニ於ケル重要ナル事件ノ協議ニ參與スルモノトス
- 主事 壹名
  - 泉橋慈善病院事務長ニ會長ヨリ囑託スルモノトス
  - 主事ハ幹事ノ旨ヲ受ケ會務ヲ掌理ス
- 書記 若干名
  - 上長ノ命ヲ受ケ會務ニ從事ス
- 第五條 本會ニ常議員若干名ヲ置キ會員中ヨリ泉橋慈善病院評議

員會長之ヲ囑託ス

- 第六條 會長及副會長ハ常議員ノ互選ニ依ル
- 幹事ハ常議員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 第七條 會長、副會長、常議員及幹事ノ任期ハ貳年トス但シ重任ヲ妨ケズ
- 第八條 本會ハ毎年四月總會ヲ開キ一年間ノ事業及會計ノ報告ヲナス
- 二月、九月、十一月ノ三回常會ヲ開キ左ノ事項ヲ舉行ス但シ會場ハ毎回泉橋慈善病院内トス
- (イ) 病院當事者ヨリ病院ノ現況ヲ聴取シ兼テ入院患者ヲ慰問ス
- (ロ) 講師ヲ聘シテ慈善救済ニ關スル講話ヲ聴クコト
- (ハ) 本會ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル方法ニ就テ協議スルコト
- 第九條 常議員會及幹事會ハ必要ニ應ジテ會長之ヲ招集ス
- 第十條 會員ハ五ヶ年ヲ壹期トシ會費トシテ該期間毎年壹口金拾貳圓ヲ齎出ス但シ一人ニテ數口ヲ齎出スルコトヲ得
- 壹期ヲ終リタル時ハ更ニ其齎出口數ヲ定ムルモノトス
- 第十一條 會費ハ壹年貳回之ヲ齎出スルモノトス
- 第十二條 本會ハ特志家ヨリ金品ノ寄附ヲ受ケルコトヲ得
- 第十三條 男子ニシテ本會ノ趣旨ヲ賛成スル者ハ之ヲ賛成員ト稱ス其會費ハ第十條ノ規定ニ依ル
- 第十四條 賛成員ハ本會ノ總會及常會ニ出席スルコトヲ得

附録第二

賛助婦人會報告

(大正十三年度)

(一) 役員

(大正十三年十二月末日現在)

會長 井上末子

(大正十三年四月七日再選重任)

副會長 澁澤兼子

(同)

副會長 三井苞子

(同)

幹事 岡田德子

(同)

幹事 團芳子

(同)

常議員 (大正十三年四月七日本院評議員會長ヨリ囑託重任)

井上末子

三井苞子

士肥多越子

三井曉子

三井榮子

早川里子

山田久子

池田艶子

賛助婦人會規約

第一條 本會ハ賛助婦人會ヲ組織スルニ目的トシテ其ノ宗旨ハ...

第二條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第三條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第四條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第五條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第六條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第七條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第八條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第九條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十一條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十二條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十三條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十四條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十五條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

役員之ヲ委託ス

第六條 會長及副會長ハ常議員ノ互選ニ依リ...

第七條 會長、副會長、常議員及幹事ノ任期ハ...

第八條 本會ハ毎年四月總會ヲ開キ一年間ノ事務及會計ノ報告ヲ...

第九條 二月、九月、十一月ノ三回總會ヲ開キ左ノ事項ヲ執行ス...

第十條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十一條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十二條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十三條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十四條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

第十五條 本會ハ賛助婦人會トシテ其ノ宗旨ハ...

顧問

侯爵 井上勝之助 佐藤 三吉 子爵 澁澤 榮一 男爵 三井八郎右衛門  
 岡田 和一郎 土肥 慶藏 入澤 達吉 男爵 益田 孝  
 團 琢 磨 三井元之助 三井源右衛門 田代 義德(專務)  
 石川 八十井 船尾 榮太郎(專務) 木村 德衛 有賀 長文  
 藤井市三郎 中泉 行德 田所喜久馬 男爵 青山 徹藏  
 福士 政一 溝口 恒輔 平松 濤平 笠森 周護  
 太田 孝之 保利 清 前田 安之助 佐谷 有吉  
 主事 溝口 恒輔 會計主任 德澤 治

(二) 總會

◎四月七日 午後二時本院記念式ニ引續キ左ノ順序ニ依リ總會ヲ行フ

一、事業報告

田代 專務顧問

二、協 議

(一、役員改選ノ件  
大正十二年度決算報告承認及同十三年度豫算決定)

三、講 話

醫學博士 木下 正中氏

四、院 歌

五、閉 會

六、茶 菓

七、院内隨意參觀

來賓、(本院記念式記事參照)

(三) 常 議 員 會

◎四月七日 會長、副會長ノ互選及幹事ノ囑託ヲ行フ

(四) 事 業 報 告

- 一、前年ニ引續キ泉橋慈善病院ニ入院セル妊産婦及小兒ヲ一日平均各二名宛一日一人金壹圓貳拾錢ノ豫算ヲ以テ本會之ヲ引受ケ其ノ費用ヲ支辨ス
- 二、入院患者ニ要スル手拭、齒磨、楊枝、淺草紙、産兒ニ要スル襁褓等ヲ買辨支給シ又吸入器ヲ病人相談所ニ備ヘ置キ必要ニ應シ之ヲ外來患者ニ貸與スルコト等前年ノ如シ
- 三、乳厨ヲ設置シ營養不良ノ入院患者ニ給與スルコト亦前年ノ如シ
- 四、本院看護婦及同講習生ノ轉地保養所費用中へ金百五拾圓也ヲ寄贈セリ
- 五、四月七日本院第四回産婆講習科卒業生九名及第四回看護法講習科卒業生十六名ニ記念品ヲ授與セリ

六、本年一月ヨリ十二月末日マテニ病人相談所ニテ取扱ヒタル件数左ノ如シ

一 入院患者ノ慰問	一、二七	一 入院希望ニ就テ	一三
一 同 患者ノ家族訪問	七六	一 肺病患者ノ處置ニ就テ	其
一 養育院へ入院セシメタルモノ	五	一 子供ノ處置ニ就テ	三
一 他ノ施療機關へ世話セシモノ	二六	一 退院者ノ處置ニ就テ	〇
一 療治法ニ就テ	三〇	一 結婚ノ媒介ヲナセシモノ	一
一 代筆ヲナセシモノ	二〇	一 異常兒ノ處置ニ就テ	一
一 町役場ヨリ救助米ヲ受クル世話ヲナセシモノ	二	一 物品ヲ給與セシモノ	六
一 死亡患者ヲ讀經回向セシモノ	一四	一 慈惠資金分與ノ世話ヲセシモノ	三
一 職業ヲ紹介セシモノ	四	一 産婦退院ノ折乗車ノ世話ヲセシモノ	六
一 身ノ上相談	三		六
合計件数	二、四二一		

(五) 會員、賛成員、入退並現在數

大正十三年中ニ於ケル入會者ハ會員三名十五口、退會者ハ會員三名三口、口數變更一名ニシテ十二月末日現在會員八十九名賛成員八名合計九十七名四百六十五口ナリ

(六) 會計

大正十四年度 自大正十四年四月一日 至同 十五年三月卅一日 收入支出豫算

收入總額	十四年度豫算	九、六五 <sup>四</sup> 三 <sup>五</sup>	摘要	十三年度豫算	八、七〇 <sup>四</sup> 五 <sup>四</sup>	十三年度實收入	八、八三 <sup>四</sup> 九 <sup>四</sup>
會費	內	五、五五 <sup>六</sup> 〇〇		會費	五、五〇 <sup>〇</sup> 〇〇	會費	五、四四 <sup>八</sup> 〇〇
預金利子	內	一八〇〇〇		預金利子	一〇〇〇〇	預金利子	一四〇〇〇
雜收入	內	二七〇〇〇		雜收入	ク	雜收入	二六 <sup>五</sup> 五
前年度繰越	支	三、六六 <sup>六</sup> 三 <sup>五</sup>		前年度繰越	二、九八 <sup>五</sup> 四	前年度繰越	二、九八 <sup>五</sup> 四
支出總額	內	九、六五 <sup>四</sup> 三 <sup>五</sup>		十三年度豫算	八、七〇 <sup>四</sup> 五 <sup>四</sup>	十三年度實支出	八、八三 <sup>四</sup> 九 <sup>四</sup>



救療費	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇
患者需用品費	五〇〇	三〇〇	三〇〇
慰安費	二八〇	二七〇	二九〇
書記手當	二、五〇〇	二、五〇〇	二、七六〇
賞品	九五〇	六六〇	七五〇
慰勞金	三〇〇	三〇〇	二八〇
集金費	三五〇	三五〇	三九〇
集會費	一四〇	一四〇	一三〇
備品費	一八〇	二〇〇	一六五
帳簿文具類	一五〇	二〇〇	一五〇
印刷費	一六〇	二〇〇	一三〇
通信費	七〇〇	六〇〇	四〇〇
雜費	五〇〇	五〇〇	三九〇
支出小計	五、六六七	五、五五七	五、一三〇
積立金	三、九五三	三、四八八	三、六六三

救療費 (入院患者一日四人一ヶ年分 一人一日金壹圓貳拾錢)  
 患者需用品費 手拭齒磨楊枝ハガキ淺草紙等  
 慰安費 (入院患者慰問二回及看護婦夏期轉地保養補助 月給金圓一人、七圓一人、五圓一人)  
 賞品 產婆及看護法講習生卒業者ニ記念品  
 慰勞金 書記年末慰勞  
 集金費 年二回會費集金費  
 集會費 總會及常會(三回)諸費  
 備品費 名簿及年報  
 帳簿文具類  
 印刷費  
 通信費  
 雜費

大正十三年度 (自大正十三年四月一日起至十四年三月卅一日) 決算報告

收入	本年	前年度
會費	金五千八百五拾參圓九拾七錢	金五千九百九拾參圓拾錢
預金利息	金五百四拾圓四拾錢	金壹千七百五拾貳圓也
雜收入	金貳百六拾五圓五拾七錢	金貳拾貳圓參拾七錢
前年度繰越殘	金貳千九百八拾五圓四拾八錢	金貳百九拾參圓參拾八錢
總額	金八千八百五拾九圓四拾五錢	金五千九百九拾參圓拾錢
支出	本年	前年度
救療費	一、七五〇	一、七五〇
患者需用品費	五〇〇	三〇〇
慰安費	二八〇	二七〇
書記手當	二、五〇〇	二、五〇〇
賞品	九五〇	六六〇
慰勞金	三〇〇	三〇〇
集金費	三五〇	三五〇
集會費	一四〇	一四〇
備品費	一八〇	二〇〇
帳簿文具類	一五〇	二〇〇
印刷費	一六〇	二〇〇
通信費	七〇〇	六〇〇
雜費	五〇〇	五〇〇
支出總額	五、六六七	五、五五七
總額	三、九五三	三、四八八

金貳千貳百七拾六圓六拾七錢  
 金七拾五圓七拾錢  
 金貳百八拾圓也  
 金參拾參圓九拾六錢  
 金百參拾貳圓五拾錢  
 金百拾六圓五拾五錢  
 金五圓四拾錢  
 金百貳拾貳圓七拾錢  
 金四拾貳圓壹錢  
 金參拾九圓八拾六錢  
 差引殘金參千六百四拾六圓參拾五錢

書記手當  
 賞勞金  
 慰勞金  
 集會費  
 集會費  
 備用品費  
 帳簿文具類  
 印刷費  
 通信費  
 雜費  
 次年度ニ繰越

# 終